夕刊
磐城日日
発行所 磐城日日新聞社
福島県磐城市浅廻五一
電話387番
編集兼発行人 村松 清

酒は 清世界
上朝神町一九
清水屋商店
小野義一
電話「四五六番」

工費一億円で建設の コッパース瓦斯化爐 落成披露

日本ソイル工業株式会社は総工費一億円の巨費を投じ、同社小名浜工場にコッパース・ガス化炉の建設を昭和二十九年十二月着工以来満一年を経て完成し、去る二十日午後二時より同工場において、コッパース工場落成披露式を、通産省、大蔵省、農林省等各関係官庁、関係建設業者及び福島県知事、同県議会議長等、地元より磐城市長、同市議会議長等コッパース工場建設の関係者五〇名を招待し挙行されることになつた

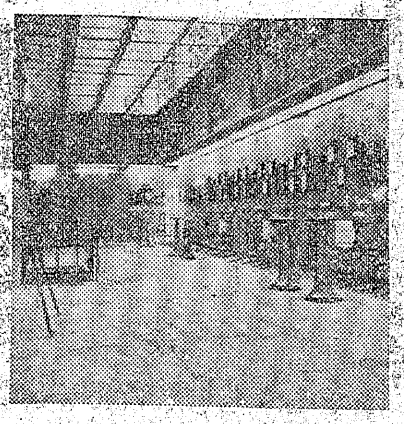
コッパース工場は、石炭合理化法にも即応、硫安生産コストの大幅値下げをねらい、国際市場に対応し、国際市場に販路を拡張することになるものである

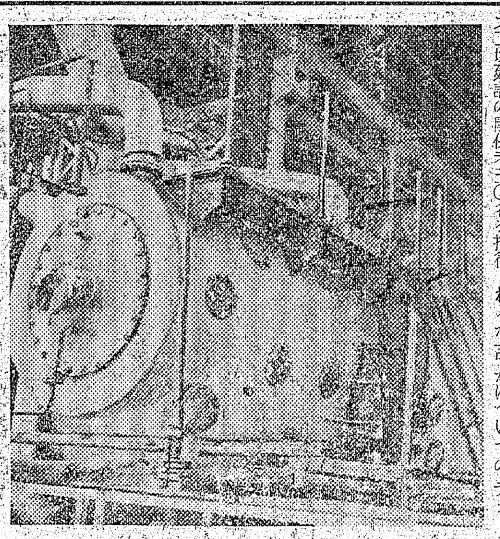
なお、この施設はフィンランドのテッピー社に次ぐ世界で二番目のものといわれ石炭化学の基礎的な設備として重視され、将来低品位炭の工業化が企業化されるか否かについてのテストプランとして斯界の注視を集めているものである

三基よりなるコッパース・ガス化炉は一日平均二十五万立方米の亙斯を発生、すい蒸気百屯、役員の選出を行う

これに使用する低品位炭は一日平均八十屯より九十屯を消化し、硫安を年間十二万屯生産することになる

(写真右)完成したボイラー
(写真下)コッパース式ガス化炉の操作室





給與基準の是正等 市長答辯後に讓る

磐城市役所職員組合、青年婦人部結成大会が十九日午後一時市役所大会議室に於て開催、規約の審議役員の選出を行う

磐城市役所職員組合は、本十五日午前九時より仲田助役を聞き去る十月二十二日の組合大会の決議である「給与の不均衡の是正について」市側の回答をしてもらうことになつた

席上仲田助役は、市長が二十日が二十五日には登庁するので責任ある答弁よりの回答の方が良いだろうとの意見を述べたので、組合はその案を了として解散した

此の給与の不均衡は、現在決定基礎になつている或るファクターは合併前の各町村において占めている能りめくが多分に算定基準に加味されているのを合併後まで存置しておくことは不合理である又、行政面が一本化されているにもかかわらず、給与の面のみ均一化の方向を出さないのは独いては事務能りよくにも影響されて行くという結果になるので、実態に即応した算定基準の均一化を計ろうとするものである

職組青婦部 十九日結成

磐城市役所職員組合、青年婦人部結成大会が十九日午後一時市役所大会議室に於て開催、規約の審議役員の選出を行う

小名高の 校内競技会

磐城市小名浜高等学校では、去る十七、十八の二日間校内グラス対抗競き会を開催した

種目は男子、籠球、排球、陸上、卓球、らぐびーであり、女子はらぐびーを除外した四種で行つた

競技の結果、男子は三年A組、女子は一年C組が優勝した

なお、女子の優勝した一年被服科の表彰選手は、二年に平市磐城女子商等学校と平商業高等学校グラウンドに於て、学年対抗競技会に出場が決定された

当じつの種目は陸上競技とバレーボールである

可哀想なお友だちへ 教会学校の幼兒達 野菜や果物を贈る

磐城市ハヤ人小名浜聖テモテ教会(神父加藤泰治氏)教会学校(幼稚園)生徒一同として野菜物及果物約十五貫匁を磐城市福祉事務所に昨十四日午後一時贈呈することになつた

贈呈者深沢四郎主将白石正昭選手

磐城市ハヤ人小名浜聖テモテ教会(十〇人)の可愛らしい贈り物は収穫の秋に各家庭菜園より収穫した野菜を神にお供えし、収穫の感謝にお祈りをすることになつており、この度はその野菜を寄附したものである。

同教会では今年六月に「花の日」として各家庭に咲いた生花を神に捧げ、その花をスイ素病院を訪ねて、入院患者を見舞い、病院及患者より感謝されていた

可哀想な人々へと依頼された福祉事務所では、この贈物を同市高山の高山母子寮に贈ることにした

磐城市福祉事務所保育施設係上遠野一雄氏は

昨年も小名浜テモテ教会より感謝さいの寄贈を受け、高山母子寮に贈りました 今年も高山母子寮に贈りたいとおもつていますが、まだ目標額に達していないようです

こうした時この様な贈り物は福祉事業にたずさわるわたし共としては誠にうれしいことですと語つていた

新しい試みの 四切作品寫眞展

磐城市役所職員組合は、本十五日午前九時より仲田助役を聞き去る十月二十二日の組合大会の決議である「給与の不均衡の是正について」市側の回答をしてもらうことになつた

席上仲田助役は、市長が二十日が二十五日には登庁するので責任ある答弁よりの回答の方が良いだろうとの意見を述べたので、組合はその案を了として解散した

此の給与の不均衡は、現在決定基礎になつている或るファクターは合併前の各町村において占めている能りめくが多分に算定基準に加味されているのを合併後まで存置しておくことは不合理である

又、行政面が一本化されているにもかかわらず、給与の面のみ均一化の方向を出さないのは独いては事務能りよくにも影響されて行くという結果になるので、実態に即応した算定基準の均一化を計ろうとするものである

校長懇談会

磐城市内の各学校長の懇談会が本日午前九時から名浜高校に於て行われた

ジフテリア 初患者重態

磐城市栄町二〇番地すい業工員小野芳三郎さん次女芳枝さん(七つ)はジフテリアですい業病院に入院、重態である

尊徳翁の慰霊塔 十七日除幕式

既報、磐城市旧飯島村上蔵持蓮光寺境内に建つた二宮尊徳翁百年祭記念塔は、発起人志賀直哉氏等の献身的な努力でこの程完成したので、来る十一月十七日午前十時から今所にかて、大竹県知事、水野県報徳会長始め、県下各地の協讃者二百二十名参集のもとに除幕式並に慰霊サイを盛大に挙行することになつた。

この挙について既報の通りの趣旨で、尊徳翁の命日を期し、挙行する様定のところ、工事の都合や農繁期等で遅れていたものである。

漸く農作だつた秋の取入れも一段落して農閑期に入り、亦聖地滅特は目下満山紅葉と云つた好期なので、尊徳翁の遺徳をしのぶにふさわしいところと時なので当日の盛大さが予想されている。

田村冷凍工場燃く 損害約五十万円

昨十四日午後九時八分頃磐城市大平町鹿島消防団が現場にかけつけ消火に当り、同工場魚類処理室二十七坪を焼いたのみで、他への類焼をまぬかれた。同地帯には磐城市江名支所、田村鉄工場等が隣接しており、一時は混乱した。

損害約五十万円、出火原因については目下調査中であるが、火の不始末ではないかと見られている

流潮

挙げられた今日、民主自由の両党が合同して保守新党が生れた。斯くて保守、革新の二大政党対立となり、両期的な政界再編成となつた。

遺選と婦選の記念式典を

天氣予報

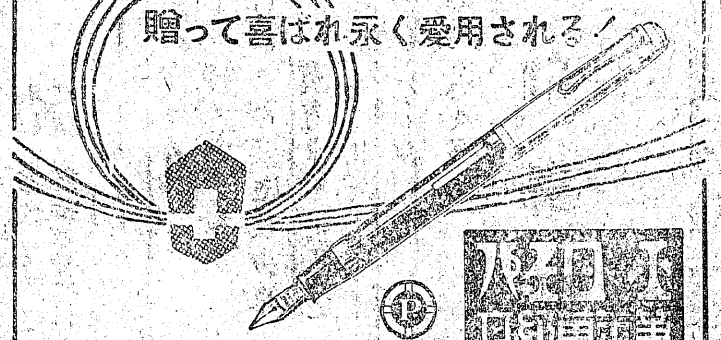
【今晩】北かぜ、晴のちくもり

【明日】東よりのかぜ、くもりではじめ晴れる事がありますが、遅くなつて雨が降りましよう

▲開業御知らせ▼
宿泊料一五〇円 二食付三〇〇円
商人旅館 鳴美
晃非一度御利用下さい
磐城市本局前 電一〇二四番

秋も深くなつて酒の味も一段と旨味を増して夕ゲの一杯は明日の活動力を養うと言合いの頃となりました
郷土味豊かな石城の銘酒 なじみ深い一会津 秋田の銘酒 酒呑みに愛されている なだの銘酒 秋正宗 大関を取揃えました
日本酒もさることら洋酒の味も亦格別です カクテルパーティを催して皆様の手でお好きな味を創り出すところに妙味があり、飲みくらべなどしてみるのもよいと云つた風かとおもわれます 御参考までに洋酒類銘柄は
オールド サントリW ヘルメス ジン
サントリー白レツテル 〃 キウラソ
トリスW 〃 ペパーミント
デルタスW 〃 チエリーブランデー
赤玉ホワイト 赤玉ポートワイン オーシヤンW ギングW
ダンサン水も取揃えました 合理化による消費者えのサービスとして去月爆弾的値下断行を発表し洋酒界に一大センセエションをまき起した問題のキングウキスキーも入荷致しました
角壜 720CC (正四合入) 380円
ポケツト 182CC (正一合入) 100円
多少に不拘電三一七番 正駒酒店 に御下命の程お願い申上ます 古港 正駒酒店 電三一七

工事部開設
◎便所移轉 改造 漏水防止 清洗等一切
右格安にお引受けします
磐城市辰己町 電一四五
たけや清掃部

贈って喜ばれ永く愛用される！

紙と文具と洋画材料
昭和堂文具店
(美しく名入彫刻致します) 電669番
耐酸ペン付 ¥〇〇ヨリ
1ダース ペン付 ¥〇〇ヨリ

普選三十周年、婦選十周年の記念式典が、今日東京日比谷公会堂で盛大に行われた。

岐阜の遭難で「板垣死すとも自由は死せず」と絶叫した彼の板垣退助を始め、本県三春の生んだ政治的大先覚者磐州河野広中等の先輩達が、普選を叫んで以来四十年後の大正十四年五月五日、漸やくにして今日の普選が実現したのである。

普選こそは将に戦いとった選挙権であつて、あらゆる迫害と斗い来つた人々の血涙の結晶であつたのだ。

小泉又次郎や大竹貫一が馬にまたがりさつ爽と日比谷原頭や芝山王台から示威行進に乗り出したあの当時の光景を思い浮べて、ひとしお感激の情を深めるものである。

普選はたしかに革新政治への第一歩であり、その実施は民衆の勝利を物語るものであつて、華々しい政治斗争史の輝やく一頁を飾るものであつた。斯くて三十年、民主政治未だしの感を深うするは遺憾の極みと云わざるを得ない。

大正八、九年頃であつたか、「婦人参政権獲得同盟」が組織されて普選は将に斗争の勝利だ。斗いとつたものに相違ない。然るに婦選はこれと異り、終戦後突如として来軍政府から与えられたものだ夢想だにしなかつた敗戦によつて全国民が虚脱状態にあつた昭和二十年十二月十七日、何の豫告もなく、豫期しなかつた婦人参政権が突然、真に突然賦与されたのだ。然し婦人連が真にこれを期待なかつたであろうか？、普通選挙実施以来当時既に二十年になるのに婦選獲得のために動いた人々が果してなかつたであろうか？

否断じてそうではない、明治初年福田英子が婦権拡張を叫んだ遠い昔はとも角、明治の末葉から大正年代にかけて盛んに婦権拡張、男女同権が叫ばれると共に、猛烈な婦人参政権獲得運動が起つたのだ私は今それらの歴史的過程を記そうとは思わない。只当時私は一学生の身を以て、この婦選獲得運動に参加した体験を持つているので、その一、二を書き添えて想い出の供したいと思う。

大正八、九年頃であつたか、「婦人参政権獲得同盟」が組織されていた。「赤い酒なら飲みましよか　手伝うのを常としていたのだ。

「女性同盟」の校正は折悪しく主婦の気もなく前にあつた台布巾（ふきん）でこれをふいた。

「アラ済みません」

と側らの女が云うと、間髪を入れずに市川房枝が

「ねえ、かし村さん、日本の憲法ができて、あらゆる迫害と斗い来つた人々の血涙の結晶であつたのだ。

小泉又次郎や大竹貫一が馬にまたがりさつ爽と日比谷原頭や芝山王台から示威行進に乗り出したあの当時の光景を思い浮べて、ひとしお感激の情を深めるものである。

普選はたしかに革新政治への第一歩であり、その実施は民衆の勝利を物語るものであつて、華々しい政治斗争史の輝やく一頁を飾るものであつた。斯くて三十年、民主政治未だしの感を深うするは遺憾の極みと云わざるを得ない